

創造・参加・実践
No.760

最新のJR西労組運動をチェックしよう!
JR西労組HP (http://www.jrw-union.gr.jp)



「友だち追加」から「ID検索」または「QRコード」で登録!
@dzc0159s



西日本旅客鉄道労働組合

〒530-0012 大阪市北区芝田2丁目1番18号
西阪急ビル9階
TEL 06-6375-9869(代)
FAX 06-6373-4133

発行責任者 上村 良成
編集責任者 尾崎 裕介

山陽本線朝霧・明石駅間触車事故から24年 伯備線触車事故から19年



山陽本線 朝霧・明石駅間触車事故現場にて
献花を行い、亡くなられた御霊に安全を誓った

1月24日に発生した触車事故を 決して忘れず安全確立を誓う

1月24日は、過去に私たちの仲間が2件の触車事故にて4名が亡くなっている。同日には、中央本部と関係する地本において、お亡くなりになられた仲間の御霊に對して、哀悼の誠を捧げるとともに、二度と同じような事故を発生させない決意を固めた。

■山陽本線朝霧・明石駅間触車事故から24年

神戸地方本部と中央本部は1月24日(金)に、JR西労組の強い要望で、2017年神戸保線区西明石管理室内に建立された「安全の碑」に赴き、献花行動を行った。

また、その後、山陽本線朝霧駅・明石駅間の事故現場において、献花行動を行い、お亡くなりになられた仲間の御霊に哀悼の誠を捧げ、二度と同じような事故を発生させない決意を固めた。

■伯備線触車事故から19年

米子地方本部は1月24日(金)、米子ワシントンホテル

ラザにおいて、「2025年安全の集い」を開催し、約80名の組合員が参加した。冒頭、米子地方本部大川執行委員長は、伯備線触車事故当時の自身の経験を語り、キズを負った組合員が一緒に働いていることを忘れてはいけない。また、社

員組合員が安心して働ける環境の構築と、何気ない日常を不安なものとする決意を込めた挨拶を行った。その後、事故直後のニュース映像の視聴と、事故概況の説明が行われ、伯備線触車事故を振り返った。そして、「JR西労組・JR西日本連合

安全お守り手帳」を活用したディスプレイを行い、参加者全員で安全に対する思いを決意した。安全の集い終了後は、根雨管理室横にある安全碑において追悼献花式を行い、上村中央執行委員長は、「JR西労組組合員の強い決意の



伯備線触車事故から19年目となる1月24日に改めて安全な鉄道への決意を固めた



追悼献花式にて「安全の誓い」を述べる大川委員長

第2回賃金対策委員会 2025春闘方針策定に向け、意思統一

中央本部は、1月20日(月)、西阪急ビル地下会議室において、第2回賃金対策委員会を開催し、各地本総支部、部会

の賃金担当者が出席した。冒頭、上村中央執行委員長は、会社の経営状況、社会情勢、2025春闘について挨拶した。特に2025春闘については、「2024春闘の成果を上回る必要がある」とし、たうで、「JR連合が12,000円以上の統一要求とする中で、JR連合・JR西日本連合の中核単組として

の使命を果たすべく、要求内容を議論したい」と述べた。議事では、連合の春闘方針及びJR連合の春闘方針について説明が行われた後、JR西労組春闘方針の策定に向けて、要求の基本的な考え方や、各地本総支部部会から集約された要求項目を確認した。

出席者から「基本給に拘った春闘とすべき」とした上で、「エリア手当」「職務手当のML層の拡大」「間接部門への手当拡大」など、組合員の強い要望が出された。そして、2025春闘についても、概布やフォトモザイクの取り組みを行うことを確認した。JR西労組の2025春闘方針は、2月5日開催の「第43回中央委員会」にて決定することとなる。

中央本部は、1月20日(月)、西阪急ビル地下会議室において、第2回賃金対策委員会を開催し、各地本総支部、部会の賃金担当者が出席した。冒頭、上村中央執行委員長は、会社の経営状況、社会情勢、2025春闘について挨拶した。特に2025春闘については、「2024春闘の成果を上回る必要がある」とし、たうで、「JR連合が12,000円以上の統一要求とする中で、JR連合・JR西日本連合の中核単組として

の使命を果たすべく、要求内容を議論したい」と述べた。議事では、連合の春闘方針及びJR連合の春闘方針について説明が行われた後、JR西労組春闘方針の策定に向けて、要求の基本的な考え方や、各地本総支部部会から集約された要求項目を確認した。

出席者から「基本給に拘った春闘とすべき」とした上で、「エリア手当」「職務手当のML層の拡大」「間接部門への手当拡大」など、組合員の強い要望が出された。そして、2025春闘についても、概布やフォトモザイクの取り組みを行うことを確認した。JR西労組の2025春闘方針は、2月5日開催の「第43回中央委員会」にて決定することとなる。

JR西労組議員団会議 政策勉強会

中央本部は、12月26日(木)、CIVI北梅田研修センターにおいて、JR西労組議員団会議に所属する各議員と「JR西労組議員団会議政策勉強会」を開催した。

上村中央執行委員長は、安全・人手不足に伴う課題認識・2025春闘・組織・政策と政治課題について挨拶を行った。特に政策課題については、運賃体系の課題について触れ、地域の各議員からも国に対して要望活動を行うとともに、地域の予算額での公共交通政策への反映についてJR西労組の課題認識について述べた。

勉強会は、「JCLaaSが目指すインフラマネジメント」について、JR西日本より説明を受け、意見交換を行い、現在の取り組み内容や将来展望、地域との関わりを持つべく、議員の果たす役割について、見聞を深める機会となった。

JR西労組は、引き続き、議員団会議所属議員との連携を深めることにより、課題解決に取り組んでいく。



JR西労組の政策課題について連携を深めることを意思統一

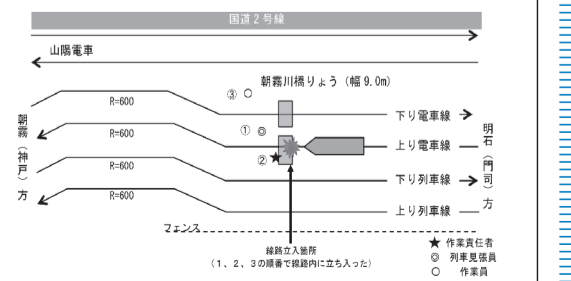
と、世界一安全な鉄道を築きあげると、3名の御霊に決意を述べ、大川執行委員長は、「安全最優先の職場を創り上げるために全力を尽くし、働く者全員で「安全で信頼されるJR西日本を創り上げる」と安全の誓いを述べた。

その後に参加者全員で献花を行い、お亡くなりになった3名の仲間の御霊に哀悼の誠を捧げるとともに、事故を忘れることなく、安全な鉄道を築く誓いを固めた。

■山陽本線 朝霧・明石駅間触車事故

2001年1月24日9時34分頃、山陽本線の朝霧駅～明石駅間の朝霧川橋上り電車線において、線路内で現場調査を行っていた保線区の仲間1名が、姫路発米原行の快速電車(電第736T列車)に触車し、命を落とした。事故後、5秒ルールの制定などの安全対策が講じられた。

【現場略図】

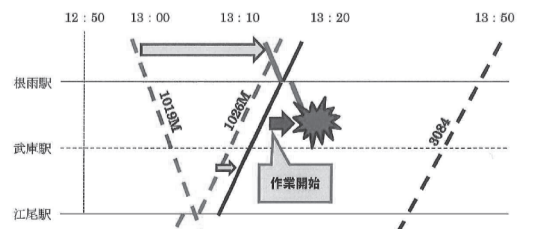


■伯備線触車事故

事故の概況

2006年1月24日13時18分頃、伯備線の根雨駅～武庫駅間で保線作業を行っていた仲間3名が、遅れてきた特急列車(スーパーやくも9号)に触車し、命を落とした。事故後、再発防止に向け、GPS列車接近警報装置、可搬式区間防止装置(ATS)、触車事故防止準則の改正など様々な安全対策が講じられた。

【当日の列車ダイヤ】



【平面略図】

